

# チャレンジ施設について

## ● 参加要件 ● (参加費 無料)

\*職員の腰痛予防の必要性は感じているが、なかなか施設内で取り組むことができない。

\*スライディングボード・シートは導入したが活用されていない、または導入はしていないが使い方・効果を確認したい。

\*茨城県福祉サービス振興会開催の「腰痛予防指導者育成研修」の受講者が在籍している。(必須要件)

## 1ステップ

### 腰痛予防モデル施設研修への参加 (1施設以上)

腰痛予防モデル施設へ訪問して、腰痛予防に組織的に取り組むノウハウを聴講します。現場目線での介護技術のアドバイスが受けられ、施設間でのコミュニケーションが図れます。(ZOOM形式、訪問形式)



## 2ステップ

### 移動移乗技術研修への参加 (4時間)

ボディメカニクスの再確認、スライディングボード・シートを使用した腰痛予防となる介護技術を担当講師より学びます。



## 3ステップ

### 介護リフト技術研修への参加 (2.5時間)

介護リフトを使用した移動移乗法について、担当講師より学びます。



## 4ステップ

### フォローアップ施設内研修への参加 (2時間 任意)

2, 3ステップで学んだ内容について、担当講師が施設へ訪問して各施設にあった技術を伝授します。



## 認定証の交付

申込時の目標と照合を行います。認定された施設へは以降、腰痛予防についての情報発信や、講師からの助言、指導を受けられます。